

「だるまさんがころんだ」岡山市立豊小学校(同市東区西大寺川口)の1年生で、脊髄性筋萎縮症の大森泰地君(7)は、業間休みに遊ぶ20人ほどのクラスメートに囲まれていた。歓声が響く中、女の子が押すストレッチャーの上で表情はほころんで見える。

児童たちは教室から外に遊びに出る時は必ず泰地君に声を掛ける。移動中に段差があれば、ストレッチャーを持ち上げるため、すぐに誰かが先生を呼びに行く。常に泰地君と一定間隔を空けて遊び、呼吸器のケーブルを誤って足に引っ掛けるなど、事故につながるトラブルもない。

学校側も1学期の間に何度も席替えしたり、下校時に全員で泰地君とハイタッチしてお別れするなど、クラスの誰もが泰地君と接する機会を増やしている。

「入学前は泰地が周りの子となじめるか心配していたけど、杞憂でした」と母の美代子さん(45)は笑顔で話す。

障害のある子もない子も共に学ぶ取り組みは「インクルーシブ」

一緒に学びたい……医療的ケアの壁

③ インクルーシブ教育

ブ(包容する)教育」と呼ばれる。日本が2014年に批准した国連の障害者権利条約で各国に推進が求められた。日本では権利条約に基づき、4月に障害者差別解消法が施行され、学校も障害のある子への「合理的配慮」が課せられた。豊小でも教室に人工呼吸器用の電源を確保したり、廊下にスロープを設けたりするなど態勢が整えられた。



業間休みに級友たちと遊ぶ大森泰地君。母の美代子さん(中央)は障害に対して「壁」をつくらない子もたちに驚く日々だ

無理と決め付けない級友

医療的ケアが欠かせない重度の障害がある泰地君の学校生活は、まさにインクルーシブ教育の実践だ。その効果は、大勢の大人や子どもと関わる中で意思表示が明確になったという泰地君の成長だけでなく、周りの児童の反応にも表れている。

日々の活動をどうすれば泰地君と一緒にできるか考える。鉢植えのアサガオへの水やりも、泰地君が寝たまま、じょうろでできるよう「机の上に鉢を置こう」と児童が提案した。泰地君が掃除当番の時は頼まなくても、雑巾を絞って渡す。

「大人なら『泰地君は無理だからしないでいいよ』となりがちだけど、子どもたちは最初から無理だと決め付ける発想がない。壁がないというか……。子どもの力ってすごいと思った」と美代子さんは感心する。

泰地君と同じ脊髄性筋萎縮症の足立大和君(10)＝岡山市立竜之口小4年＝は、幼稚園から地元の友達と一緒に過ごしてきた。同級生が自宅に泊まりに来

たり、毎年、家族ぐるみで一緒に遊びに行くなど地域に溶け込んでいる。

「地域の祭りに行ったら、知らないおじさんから『大きくなったなあ』と声を掛けられる」と父親の真悟さん(33)は言う。大森さん夫妻もそんな関係をつくらうとしている。

今年の夏、地元の河川敷であった花火の打ち上げを見に行ったときのことだ。土手を歩いていると、「あっ、泰地君だ」と同級生の男の子が駆け寄ってきた。一緒にいた男の子の家族と土手に座り、みんなで花火を見上げた。

美代子さんが地元の学校への通学を希望した大きな理由は「生涯の友をつくらせてほしい」との願いからだ。それは、11年の東日本大震災で、隣近所の助け合いの重要性をニュースなどを通じてあらためて痛感したことが大きかった。

「もし、避難所に泰地がいなかったら気付けてもらえる。そんな人間関係を地域で築きたい」医療的ケアの壁さえクリアできれば可能ではないか、と日々学校生活で強く感じている。(阿部光希)

「女の子が育つ」

そんな山小屋や岩場がない「必ず見てから登る」と話すか確認しながら登る」が上「人がいる一方、「気象庁や

ん解こ



来週の天気				
25日	26日	27日	28日	29日
札幌	10	10	30	30
仙台	10	10	30	30

第4497回ナンバーズ
数字選択式全国自治宝くじ
(22日・東京宝くじドリーム館)
＜ナンバーズ3＞
373
ストレート
101,800円 73口

第1108回ロト6
抽せん結果
数字選択式全国自治宝くじ
(22日・東京宝くじドリーム館)
◇本数字 12・25・29・32・38・43
◇ボーナス数字 35

【詐欺に注意】